

【1 分解説】社会経済的背景 (SES) とは？

ライフデザイン研究部 主任研究員 鄭 美沙

社会経済的背景 (Socio-economic Status、以下 SES) とは、個人や集団の社会的および経済的な位置づけを示す指標です。社会経済的地位とも称され、社会学や経済学などの研究で広く活用されています。一般的に、SES は学歴や所得、職業の組み合わせで測定されることが多いです。特に、子どもの学力と SES の関連が重要な課題となっており、保護者の所得など経済資本に加え、教育への関心や学習環境など社会・文化的資本が学力に影響を与えることが指摘されています。実際に、文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査では、「家にある本の冊数」を SES の代替指標として分析した結果、低 SES 層ほど各教科の正答率が低い傾向がみられました。

さらに、SES は子どもの学力のみならず、本人の健康状態や金融リテラシー、生成 AI の活用状況など、幅広い側面に影響を及ぼすことが各種研究で示されています。一方で、それらは SES のみによって決定づけられるものではありません。たとえば、学力については、「主体的・対話的で深い学び」に取り組んでいると、低 SES 層であっても正答率が向上することが報告されており、学校や家庭の工夫によって格差を克服できる可能性が示唆されています。

今後、SES がもたらす格差や不平等の実態を、教育・健康・金融など幅広い分野で把握するとともに、社会包摂につながる介入策を検討・実施することが求められます。